

(別紙2 - 1)

## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25年 1月 30日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4270202163		
法人名	有限会社 スマイルケア		
事業所名	グループホーム スマイル		
所在地	長崎県佐世保市光月町 4-11		
自己評価作成日	平成 24年 12月 20日	評価結果市町受理日	平成 25年 2月 6日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目七二一七 島原商工会議所一階
訪問調査日	平成 25年 1月 16日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

市街地という立地を活かした外出支援 町内会との連携や協力関係の構築 各入居者の残存機能を活かした支援
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

理事長、施設長、管理者が『穏やかで家庭的な支援』に向け一丸となり、明確な役割分担の基、支援活動に指導力を発揮されている。看取りに関しても方針を掲げ利用者、家族との十分な説明、話し合い、理解を戴き、管理者及び全職員利用者は自分の家族との想いをもち手厚いエンゼルケアが行われ、安らかな終末期を実現されている。また、母体は病院であり職員に看護師も配置され利用者、家族にとって医療面でも安心して頼りがいのあるホームである。立地している場所も市街地で商業施設等外出の条件にも恵まれており、介護度に応じ出来る限りの支援を行い買物等楽しみの機会を提供されている。
--

## 1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>事業所理念の「穏やかで家庭的な暮らしと絆」に基づき利用者一人一人のペースに合った家庭的な生活が出来るよう心がけている</p>	<p>理念は設立時に理事長と施設長で作り、フロアに掲示すると共に毎日の申送り終了時等の機会に唱和し共有化を図られている。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>施設の納涼祭には子供会や町内の皆さんも参加していただき、町内の祭りや文化祭への参加もしている。正月には氏神様へ初詣でをする。職員は近隣の方への挨拶を心がけている</p>	<p>夏祭り、餅つき、敬老会等各種行事を通じ地域との交流は盛んである。地区住民との関係も良好で事業所開設に伴い、近隣の公園にスロープの設置も住民有志の提案により実現している。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>町内会長が運営推進会議のメンバーであり、会議で相談を受けたり、地域高齢者の情報をいただいたりしている。また電話や見学等随時受けて対応している</p>	/	/
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>入居者、ご家族、町内会長の意見を元にスタッフでの行事への参加を呼び掛けたり、町内行事への参加の機会も増えたりとサービス向上につながっている</p>	<p>会議のメンバーは各方面からの出席があり、事業所の報告、地域情報の交換等有効な話し合いが行われている。利用者家族には事業所便り郵送時に議事録を同封し報告している。</p>	<p>会議内容に関し事業所側からの積極的な提案等により今以上の活性化した会議の運営に期待したい。</p>
5	4	<p>市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議への参加はもちろん、必要に応じて電話等で連絡を密にとり、入所の問い合わせなどお互いに協力関係ができています</p>	<p>地域包括支援センターからの入居相談、事業所よりの各種相談、報告等連携がなされ良好な協力関係が構築されている。</p>	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>勉強会において学習する機会を設けており、職員全員が正しく理解できている。身体拘束は行っていない。</p>	<p>外部、内部の研修を通じた意識付け、職員間で気付きは随時話し合い、拘束しない支援に心がけている。家族等からの申出に入居契約時に見守り対応の方針を説明し理解を載している。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会において学習する機会を設けており、不適当な言葉掛けがあった場合スタッフ同士で注意しあえる環境ができている</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現時点では該当する入居者がいないが、勉強会などで知識は共有し、該当する入居者がいた場合スタッフも管理者へ報告対応できるよう体制はできている</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居者と家族に対して入居前に契約内容の説明を行っており、納得いただいた上で契約を行うようにしている。解約、改定においても同様</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会のたびにご家族の意見を伺うようにしており、入居者の要望があればその都度家族に連絡を取り、できるだけ希望に添えるよう努力している</p>	<p>家族へは事業所より定期、随時に電話、手紙等発信し意向の把握に努めている。意見を、言葉で表現できない利用者については表情、動作により意向の把握を行っている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>随時話せる環境であり、職員会議でもスタッフ全員が意見や提案ができ、運営に反映できている</p>	<p>ケアの中での気付きは随時意見、提案を行える体制が出来ている。又、年度初めに理念に基づく目標を立て、半期毎に管理者との面談を行い実績との達成度につき、話し合い意見交換を行っている。</p>	

12	<p><b>就業環境の整備</b>          代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>個々の能力にあった努力目標を掲げ、向上心を持って働けている。勤務体制も考慮できている</p>		
13	<p><b>職員を育てる取組み</b>          代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>勉強会において学ぶ機会を設けており、外部の研修にも参加の呼びかけを行っている。日々の介護技術については現場でその都度指導を行っている</p>		
14	<p><b>同業者との交流を通じた向上</b>          代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>職員が交流する機会はなかなかないが、管理者は必要に応じて同業者と連絡を取りあっている</p>		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15	<p><b>初期に築く本人との信頼関係</b>          サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前から相談受付表で困っておられる事や要望を把握し、契約前にどういうサービスを望まれるか聞く機会を設け、初期ケアプランに反映させている</p>		
16	<p><b>初期に築く家族等との信頼関係</b>          サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族へも入所前・入所時、入所後とこまめに聞き取りを行って要望をひきだせるよう努めている</p>		
17	<p><b>初期対応の見極めと支援</b>          サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入所前から十分に聞き取りを行う中でニーズに応じて他のサービス利用を提案することもある</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員・入居者・ご家族が一つの家族であるという考えで、入居者も職員を孫や子供のように思って共に生活できている</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>外出や面会などご家族も可能な限り協力していただいている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご家族や知人の面会もあり、共に外出される機会も多くある。ご自宅や好きな場所への外出も支援している</p>	<p>主に家族との関わりは各ユニットの管理者が窓口となり情報を把握し、意識の統一を図り職員会議、申送り等により全職員で共有化を行い関係継続の支援を行っている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>お互いの相性に沿って席がえをしたり、洗面の順番に配慮しながらフロアで利用者同士がくつろげるように情報を共有し支援できている</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所の場合にも退所後面会に行ったり、ご家族や転所先の施設と連絡をとり支援に努めている。退所後もご家族様本人が予約をされたりすることもある。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>入居者の希望が叶うようご家族も交えて話し合い、できるだけ沿えるような支援を行なっている</p>	<p>一人一人の表情、職員の声掛けに対する反応により、思いや意向の把握に努めている。利用者の呼称は希望があれば親しみを込めた呼び名を家族の同意の基、使用している。</p>	

24	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入所前にフェースシートで情報の把握を行ない、入所前の面談で入居者や家族の希望を聞き、職員全員で情報を共有している</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>バイタルチェックや申し送り等で日々変わる入居者の心身状態の把握に努めている</p>		
26	10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人及び家族の希望が反映できるような信頼関係ができており、申し送りノートを活用して意見やアイデアを反映したケアプランが作成できている</p>	<p>担当職員、職員、管理者、計画作成責任者全員出席により会議を行い作成、見直しを行っている。利用者、家族の要望は担当者会議の前に収集し計画書作成後は同意を得ている。</p>	
27	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護記録の記入だけでなく、連絡ノートも活用しその都度工夫しながら対応できている、ケアプランの見直しにつなげている</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>個々のニーズへの対応ができるよう、ご家族の協力も仰ぎながら柔軟な支援に取り組んでいる</p>		
29	<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>町内の文化祭で作品作りの意欲が湧いたり、近隣散歩してる途中で声をかけられたり、夏祭りで知人に会ったり施設への友人の訪問も多い</p>		

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人及び家族の希望のかかりつけ医を選択してもらい、往診していただいたり関係作りをしながら支援している</p>	<p>受診は家族の希望を基本とし提携医以外の場合は家族の協力をお願いしている。看護師資格の職員も勤務しており母体医院の定期的往診も行われている。</p>	
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携をとれる体制にあり、適切な受診もできている</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>日頃より医療機関と情報交換を行い相談しやすい関係を作っており、入院時は必ず同行して主治医と面談を行い病状の把握に努め、早期退院にむけて支援を行っている</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>常に家族に対して情報の提供を行いその都度意向を確認しながら方針についても十分説明を行い一緒に支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に家族、提携医を交え看取りに関する指針の説明を行い同意を得ている。以後意向の変化も考慮し随時話し合いを行い支援している。職員間も連絡体制を含め常時話し合い全員で支援している。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>全ての職員が初期対応ができるよう常に指導し、医療連携体制に沿って行動できる実践力を身に付けている</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に避難訓練を行い、全職員が避難方法を身につけている。町内会や消防との協力体制も築けている。</p>	<p>夜間想定を含め定期的訓練を行っている。近隣の母体医院との連携による訓練も行っている。備蓄も完備され、事業所便りにて避難場所も家族に周知されている。</p>	

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	敬意を持って接すること、言葉掛け等も気をつけている。スタッフ同士で注意しあえる環境であり、個人的な話をする際には居室で話すなどプライバシーに配慮しながら対応している	場面場面に応じた各種のマニュアルを完備し、研修、OJTによるプライバシーに配慮した支援が行われている。個人情報も事務所内の適切な場所に保管し、管理されている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	希望を言いやすい雰囲気作りに努めている。自己決定が難しい場合は選択肢をあげるなどして工夫している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴の順番等希望に添えない事もあるが概ね希望通り事由に過ごしていただけるよう支援している		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	清潔保持のため更衣を促すことはあるが概ねその人らしい着こなしをされている		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理法を工夫したり好みのものを出せるよう心がけ、準備や片付けも共に行っている。	母体医院の厨房からの配食であり、利用者の希望は外食等により対応し好評である。利用者と共におやつ等を事業所内で作り家庭的賑わいのある時間となっている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の指導のもと、食事量のチェック表で情報を共有し、摂取形態や好みの飲み物等工夫して支援できている		



42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>口腔ケアは確実にできており、義歯の清潔保持も保っている。義歯のメンテナンスも必要に応じて行っている</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表にて排泄のパターンを把握しトイレ誘導を行っている</p>	<p>排泄パターンを把握し、プライバシーに配慮した声掛け誘導を行い、自立支援を行っている。夜間も職員の見回りにより支援している。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>飲食物の工夫や運動（マッサージ等）を行っている。それでも改善されない場合は主治医に相談し指示を仰いでいる</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>毎日の入浴を希望する方はおられず、自然と曜日が固定してきているが、寒い日等は翌日に延期したり臨機応変に希望に添えるよう支援している</p>	<p>入浴日の指定はあるが職員体制が許す限り、利用者の希望による随時の入浴も可能である。菖蒲湯、ゆず湯等季節に応じ楽しみにも配慮されている。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>体操やレクリエーションに参加されるからか夜間は皆様良眠されている</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬表や説明書により薬の目的や副作用・用法容量を全職員が理解できており、服薬支援に努めている。症状に変化がある時には主治医の指示を仰ぎ与薬している</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>個々の生活歴に応じた声掛けや役割分担、趣味の継続支援や外出支援を行っている</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している</p>	<p>外出届を出して一人で外出したり、ご家族に協力をいただいて外出されたり、可能な限り外出支援に努めている</p>	<p>利用者の持てる能力を尊重し、家族との話し合い、理解の基リスク管理を行いながら一人での外出支援も行われており、職員全員で利用者の希望を尊重した外出支援が行われている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>外出時はそれぞれの預かり金よりおこづかいを手渡し買い物を楽しんでいたり、ご家族の了承がある入居者には財布を持たれている方もいる</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望により携帯や事務所の電話を使用されている。年賀状を出される方もいる</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>温度や照明に気を付けており、花や季節の飾りで季節感を感じていただけるよう工夫している</p>	<p>適所に畳、椅子等を配置し、家庭的雰囲気作りが行われ壁面には季節に応じた利用者手作りの作品も掲示されている。床暖房も完備し清掃が行届いた廊下、トイレ等清潔な共用空間である。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファや食席で会話を楽しまれたり、一人で新聞を読まれたり思い思いの場所で過ごすことができている</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に家財道具の持ち込みに関しては確認をとるようしており、好みの巾や電気毛布等個別に持ち込まれている。	利用者の思い出深い品が持込まれ担当職員の手厚い支援により清潔で明るく室温も適温に管理され居心地の良い居室である。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの場所を案内する張り紙や、居室の表札、ベットの向きや補助棒を利用して可動域の拡大を図るなど残存能力を最大限活かせるよう工夫している		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
		2, 利用者の2/3くらいの
		3, 利用者の1/3くらいの
		4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまにある
		4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
		2, 家族の2/3くらいと
		3, 家族の1/3くらいと
		4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない

## 1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>家庭と同じように地域の皆さまとも交流し、管理者はじめ職員とも家族同様「穏やかで家庭的な暮らしとケア」の理念を共有し実践している</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地域の行事（夏祭り、文化祭、敬老会）へ参加し、施設行事も地域の方へ声掛けをして参加していただいている。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>施設の新聞を作成し、町内に回覧したり、行事へ参加していただくことで認知症に対する理解を深めていただいている。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2カ月に一度会議を行い行政職員、町内会長、家族代表、入居者代表、職員間で意見交換を行いサービスの向上に活かしている</p>		
5	4	<p>市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>施設の新聞を配布し、入居者退所の折には相談して紹介していただいたり、随時入所相談へも対応して協力している</p>		

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束の講習に参加し、職員全員意識を持って身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>常に勉強会で取り上げ、職員一人一人意識を持ち、管理者とともに防止につとめている</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現時点では活用していないが、勉強会で議題にあげ、管理者はじめ職員すべて知識は持っている</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所前に家族に契約書・重要事項説明書の説明を行い理解・納得をしていただいた上で入所していただくようにしている。改定は随時説明し納得していただいている</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>管理者が家族来訪時に時間をとって話をし、率直な意見をいただいて運営に反映させている</p>		
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>日々のミーティングや月一回の職員会議等を通じて意見や提案をする機会があり、運営に反映させている</p>		

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>十分配慮できている</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>定期的に勉強会を開催し、外部の研修にも参加している</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>管理者は同業の管理者と交流し、情報交換も行っている</p>		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前にご家族等から情報をいただき、把握して安心して生活できるよう一生懸命努力している</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所前から面談を行い、十分に理解をして関係作りに努めている</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご家族、本人に以前の生活状況を十分聞き取りし、管理者・職員でミーティングを行い、必要としている支援を見極めて支援を行っている</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>家族的な関係を持ち、何でも言い合え、入居者が気を遣わないような関係を築いている</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時は丁寧な対応を心掛け居室でゆっくり話をしていただき、不安・不穏時には電話で会話をさせていただく等支援を行なっている</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうよう、支援に努めている</p>	<p>外出や外食等で馴染みの場所へ行ったり、個々の町内行事への参加で馴染みの人にあたりしている</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>孤立しないように声掛けを行ないフロアへ誘導したり、相性もあるので食席に気を遣いながら楽しく過ごしていただくよう支援している</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所後もご家族から相談を受けることもあり、アドバイスしたり電話をかけたりと支援している</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>一人一人の思いや希望は管理者・職員と話し合いをしながらできる限りの範囲内で取り組んでいる</p>		



24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入所時のサマリーや入居者や家族に生活歴を聞き取りした内容を全員で情報を共有して把握に努めている</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>一人一人の過ごし方、本人の状況（体調）に合わせて支援に努めている</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は必ずカンファレンスにおいて担当者から意見を聴き、職員で了承した上で一人一人に合った計画を作成している</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別援助計画を作成し、実施している。定期的に見直しもおこなう。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>その都度状況に合わせて柔軟な支援ができるよう取り組んでいる</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>市の行事や地域の行事に参加したり可能な限り支援を行っている</p>		

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>家族の希望を重視して主治医は決定している。かかりつけ医へ状況報告を行い相談しながら入居者が適切な医療を受けられるよう支援している</p>		
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携がとれる体制にあり、毎朝のバイタル測定で健康管理を行い、異常があれば病院へ連絡し受診を行う体制も整っている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>マリ-を提供し、連携室と情報交換をしたり、入院先に出向いて主治医やSW等と面談を行い治療状況の把握と早期退院を促すよう協議を重ねている</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族へも定期的に状況報告を行い主治医からも病状の説明を受け、方針について十分説明した上で納得していただいてから家族を含めた支援を行っている</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時や事故発生時に備えマニュアルで確認し、常に指導を行っている。また、すぐに主治医に連絡し対応してもらう体制ができている</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>半年に一度消防署の指導を受け、避難訓練も行っている。災害時の協力体制も築けている</p>		

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	毎会議等で個々の声掛けの仕方や対応等職員全員で協議しプライバシーに配慮した支援を心がけている
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人と話したり希望を聞いたりして、一人ひとりが自己決定できるよう促している
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者のペースや希望に添えるような支援を心がけている
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髪のカットも本人の希望を取り入れたり、服も本人の意見を尊重して選んでいただけよう心がけている
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	時折入居者さんの食べたいものを聞いて一緒に調理したり片づけを手伝ってもらう
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	病院の管理栄養士により管理されており、水分量は杓子を含め毎食調べてチェック表に記入し管理・把握するようにしている

42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後口腔ケアの支援を行い、義歯の入居者に対しては眠前に洗浄剤を使用し管理している</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>一人一人の排泄パターンを把握し、声掛けにて自立できるよう支援する。困難な入居者に対しては声掛け誘導を行いトイレでの排泄を支援をしている</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排便チェックを行っている。数日排便がない場合は主治医に相談している</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>本人の体調に合わせて順番を決め介助にて入浴支援を行っている</p>		
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>昼寝の時間を設けたり、一人一人が充分休息をとれるよう支援を行っている</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>個人ファイルに処方箋を綴り、職員は把握・理解して確実に服薬していただけるよう努めている</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>ADLや認知レベルに差があるので、元気な方には簡単な仕事を手伝ってもらい、他の方はそれぞれに合った歌や踊りを一緒に行い支援している</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>個別に散歩やドライブへ誘ったり、地域行事に参加したり、年に一度はご家族の協力もいただきながら一泊旅行をするなど外出支援を行っている</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力にに応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>可能な方は少額を本人に渡して管理してもらい支援している</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望があれば電話を掛ける手伝いをしたり、手紙のやり取りができるよう支援を行っている</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間は温度の調節に気かけ、壁に季節ごとの飾りを飾って季節感が感じられるように工夫している</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>畳やソファを置いてそれぞれ好みの場所で過ごせるよう工夫している</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用されていたものを持参していただいたり、思いのままに好みの物を使用されたり飾り付けされたりしている		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人の残存能力が活かせるようスケジュール表を居室に貼ったりして出来るだけ自立した生活が送れるように支援している		
アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない	
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない	
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない	

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない